

(別記様式第3号)

## 普及活動検討会実施報告書

大崎農業改良普及センター

実施月日：令和4年9月7日

実施場所：大崎合同庁舎大会議室

### 1 検討内容

No	検討項目
	<p><b>【現地検討】</b> (1) プロジェクト課題の現地検討 「直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売」(課題No.3)</p> <p><b>【活動検討】</b> (1) 令和4年度普及指導計画の概要 (2) プロジェクト課題の現地個別検討 「直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売」(課題No.3) (3) 令和年4度プロジェクト課題進捗状況 「下真山地区における農地整備事業を契機とした地域農業の発展」(課題No.4) ※「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体によるえだまめの産地育成(課題No.1), ねぎ産地における冬越し囲い栽培の安定化と環境にやさしい栽培技術の取組拡大(課題No.2)についても情報提供 (4) 意見交換</p>

### 2 検討委員の構成

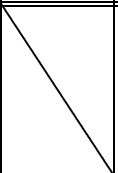
(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	(1)	生活者	1
若手・女性農業者	(1)	学識経験者	
市町村	1	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	

※ ( ) 御欠席

### 3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント，評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
検討項目 <b>NO. 1</b> 「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体によるえだまめの産地育成	4. 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えだまめの栽培の課題を改めて知った。</li> <li>・経営所得安定対策等で5年に1度の水張りとなると排水対策が大変になると思われる。</li> <li>・総合的な生産者メリットを考慮し，転作で取り組みやすい作物を提案頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えだまめ栽培の課題を整理するとともに経営指標等の情報提供を生産者に積極的に行っていく。</li> <li>・課題No. 2で排水対策については実証ほを設けて対策方法を検討しているので，それらで得られた知見を提供していく。</li> <li>・各市町や各JAと連携しながら，最新の技術的な情報提供等を通じて支援していく。</li> </ul>
検討項目 <b>NO. 2</b> ねぎ産地における冬越し囲い栽培の安定化と環境にやさしい栽培技術の取組拡大	4. 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの生産者が取り組んでいるねぎの栽培技術が高められ，GAPの取得が出来たら良いと思う。</li> <li>・経営所得安定対策等で5年に1度の水張りとなると排水対策が大変になると思われる。</li> <li>・JAでも土づくりセンターの堆肥に化成単肥を配合して，白菜で試験栽培を行っているので情報共有したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GAPの取得については，各経営体内での取り組みが進むように継続的に指導をさせて頂く。</li> <li>・肥料費が高騰している状況にあるので，生産者の方々の対策に繋がる技術的な支援方法について，関係機関と連携しながら情報提供していく。</li> </ul>
検討項目 <b>NO. 3</b> 直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売	5. 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶどうは魅力的な商材である，所得向上に繋がる指導をお願いしたい。</li> <li>・生産者さんへの適切な細かい指導がされていて素晴らしいと思う。</li> <li>・継続的に生産者からの要望にも対応できる指導方法の検討が必要</li> <li>・販売金額だけにこだわらないやりがい農業に着目したプロジェクト設定は大変良い。今後も当JA管内で研修会等を開催するので，継続的な指導をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的にぶどうを管理出来る短梢栽培による省力化を指導しながら生産者の所得向上に繋げたい。</li> <li>・ぶどう栽培については，樹齢に応じて適確な技術的指導が求められるとともに，販売面での支援必要なことから継続的に支援を行っていく。</li> <li>・研修会等を通じて地域での取り組みが広がるように関係機関と連携しながら取り組みたい。</li> </ul>

<p>検討項目 NO. 4 下真山地区における農地整備事業を契機とした地域農業の発展</p>	<p>5. 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前よりも地域がまとまってきた印象を持っている。地域がやって良かったと思える形として頂きたい。</li> <li>・関係機関との連携が密になるように工夫していることが評価出来る。作付けする品目も決まり、生産者のやる気が高まっている様子が感じられる。</li> <li>・担い手の方々が確実に育っていけるよう地区ごとの勉強会が充実されていること、横の繋がりを持つための努力、各機関との情報共有がされている点が良いと思う。</li> <li>・将来に向けた良い形が作れるようご指導をお願いしたい。</li> <li>・地域農業の維持、担い手の育成はどの地区でも問題になっているテーマ。今回の実績を活かして多方面での指導をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手部会では若手同士の話し合いが進んでいる。今後は若手と年長者世代の意見交換が円滑に行われるようにより工夫しながら取り組みたい。</li> <li>・関係機関と連携した支援を継続して行っていく。法人化の意向もあるので、専門家派遣等による支援を行っていきたい。</li> <li>・今後とも各地域の将来を担う若手生産者の支援を継続していく。</li> <li>・本課題は農地整備事業をきっかけとし、将来にわたり地域農業を支える担い手を育成するものであるので、同様の課題を抱える他地域においても本課題で得られたノウハウを指導に活かしていく。</li> </ul>
<p>その他</p>		<p>シャインマスカットの現地検討がとても良かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地における生産者の動きや当所の支援内容についてより理解を深めて頂くために今後とも現地検討を行っていききたい。</li> </ul>

※：検討項目数に応じて欄を追加し記載する